

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	このき豊田校		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 25日	～	令和7年 2月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 43	(回答者数)	34
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 25日	～	令和7年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもへの状況や成長などを日常的に職員間で意見交換し、同じ方向性を持って療育できている。	普段から職員がそれぞれに子どもの成長を感じた時には報告したり、問題が起こった時には相談したりなど意見交換が行われており、共通理解を深めている。	現状を保ちつつも、子どもたちのそれぞれの成長に合わせた療育を丁寧に取り入れながら行っていく。
2	活動のプログラムの内容は季節の行事を取り入れながら、様々な方向性から考え、職員全体で立案し決めている。	子どもたちが様々な経験をできるように、利用者に合わせた活動プログラムにしている。利用者の年齢幅が広いので、誰もが楽しめる内容を考えている。	子どもの流行の変化など対応できるよう新しい情報も取り入れ内容を充実させていく。
3	職員の資質の向上を図るための、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が十分確保されている。	研修が豊富で、参加する機会が確保されているので、職員は自ら様々な研修に参加できている。	資質向上のため、研修内容を検討し、様々な知識を増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等の開催を今年度行っておらず、保護者同士で交流する機会を設けることができていない。	今年度は開催できていなかったが、来年度は保護者会等の開催を計画しているので、保護者の方々の交流の機会を持てるように考えている。	親子で楽しめる行事を検討していく。また、保護者の方が知りたい情報(将来に向けて等)などにも取り入れていければと思う。
2	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制が整っていない。	今年度、地域のセンターと医師との連携の研修が行われたが、なかなか他の機関との連携が取れていない現状があるため、連携が取れるように考えている。	利用者についての状況を把握しながら多方向からのアプローチでより良い療育ができるようにできればと思う。
3			